

平成18年度会計決算を認定!

実施事業をくまなくチェック

各会計歳入歳出決算(一般・国保・老人医療・下水道・介護

保険・土地取得) / 上水道事業会計決算

平成18年度 各会計歳入歳出決算額

区分	決算額		差引額	
	歳入	歳出		
一般会計	64億4,879万円	62億5,851万円	1億9,028万円	
特別会計	国民健康保険事業	28億7,495万円	28億3,023万円	4,472万円
	老人保健医療	20億2,160万円	19億9,010万円	3,150万円
	公共下水道事業	11億3,343万円	11億0,344万円	2,999万円
	介護保険	14億8,450万円	14億4,491万円	3,959万円
上水道	収益的収支	5億2,973万円	4億7,687万円	5,286万円
	資本的収支	3億1,172万円	3億3,882万円	△2,710万円

※ 金額の表記については、万円未満四捨五入

決算特別委員会における主な質疑をピックアップ!!

- 【総務部門】**
- Q 来年度の予算編成における、新型交付税の見込みについて。
- A 全容を把握し、内容についてよく調査をしていく。
- Q 定率減税廃止に伴う税収への影響額は、5千万円程度の増額となっている。
- A 一般会計から国民健康保険・老人保健医療・介護保険の各特別会計への繰入金の状況は、一部は繰入により運営を行っているが、今後是一般会計からなるべく繰入をしないような運営に努めていきたい。
- 【民生部門】**
- Q 一般会計から国民健康保険・老人保健医療・介護保険の各特別会計への繰入金状況は、一部は繰入により運営を行っているが、今後是一般会計からなるべく繰入をしないような運営に努めていきたい。
- A 一般会計から国民健康保険・老人保健医療・介護保険の各特別会計への繰入金状況は、一部は繰入により運営を行っているが、今後是一般会計からなるべく繰入をしないような運営に努めていきたい。
- 【建設部門】**
- Q 黒瀬に抜けるトンネルと県道矢野安浦線の整備の完了時期について。
- A 財政的な問題等も含め、現在県で見直し作業中である。
- Q 北部農道2ヶ所の改修に掛かった費用はいくらか。
- A 工房頂上付近が3千360万円、初神出口付近のS字カーブ箇所が2千140万円である。
- 【教育部門】**
- Q 小学校の弁当給食の普及率は、
- A 普及率は、ここ2、3年で約75%くらいであり、推移については上向き傾向にある。

総務部門 主要事業実績



▶計画策定を行いました

- 住居表示
→住居表示の整備に当り、住居表示審議会を4回開催し、住居表示整備計画の策定を行った (356万3千円)

民生部門 主要事業実績

- 地域健康センターの整備へ
→東部地域の介護予防等の拠点として、東部地域健康センターの実施設計業務に着手 (609万円)



◀完成イメージ図

建設部門 主要事業実績



▶交通がスムーズになりました

- 町道呉出来線改良工事
→車両の離合が困難な町道の、拡幅整備を行った(大瀬戸医院から呉地方先) (499万8千円)

教育部門 主要事業実績

- 第一小学校の改修準備
→老朽化している中校舎の改修のため、耐震設計及び実施設計業務を実施(1,050万円)



◀耐震補強等を行っています

平成19年9月19日から、第4回熊野町議会定例会が開会され、町長から平成18年度の決算認定案が提出された。審査に当たっては、議員全員で構成する「決算特別委員会」を設置して行った。委員会では、町当局から決算概要や主要

な事業(左記に各部門ごとの主な事業を抜粋)について説明を受け、会計関連の帳簿等の審査や、質疑を交え入念に審査を行った。最終的には、本会議にて委員会報告を行い、全会一致で原案どおり認定した。